

‘市民の科学’が評価する

# 世界の湿地の状況



## 背景

2017年、世界湿地ネットワーク、湿地科学者協会ラムサール班そして水鳥湿地トラストは、湿地の状況について、世界中から情報を集めて査定し、‘市民の科学’の知識に基づいた地球規模の評価をリードしていくために、結集した。

## 回答結果

調査の結果、7つの異なった言語で、92か国の人々から、541の使用可能な回答を受け取った。調査にご協力いただいた方々におかれましては、非常に貴重なご情報に対し心から感謝したい。

## 世界の湿地の状態

調査に対する回答によると、世界の湿地の概況は、報告された湿地の30%はよい状態にあり、46%はまずまず平均的な状態であるが、24%の湿地については貧弱な状態にあることが示している。

地域によって違いが生じていることも報告されている。アフリカからの回答では38%の湿地は貧弱な状態にあると示されているのに対し、北米大陸の湿地では10.2%だけが貧弱な状態と報告されている。

地球規模では、21%の湿地は改善状況にあるところ、36%の湿地は悪化状況にあり、43%の湿地は現状維持にあることを、調査回答は示している。

## 次は何？

調査に対する回答は、たいへん豊かなデータを提供してくれている。ここでのご報告は、簡単に見出し的な調査結果を報告することのみを目的としている。さらなる分析は現在進行中であり、結果は数ヶ月のうちに発表される予定で、2018年10月にドバイで開催される第13回ラムサール条約締約国会議(COP13)でも報告される。

この分析の進行状況について情報をお求めの場合は [chris.rostron@worldwetnet.org](mailto:chris.rostron@worldwetnet.org) までご連絡ください。

